

粕川地区にお住まいの皆様へ

## 令和4年度（令和3年分）市民税・県民税申告受付会場のお知らせ

粕川支所税務課が市民サービス課に統合されたことにより、粕川支所では申告受付を行わず、大胡支所会場に統合となります。

宮城・粕川地区が大胡支所会場へ統合されるため、大胡支所会場は大変混雑が予想されます。市役所市民税課宛て郵送での提出や市役所会場での申告をご検討ください

	出張会場	本会場
申告会場	大胡支所（2階 大会議室） 前橋市堀越町1115番地	前橋市役所（2階 市民税課） 前橋市大手町二丁目12番1号
対象地区	大胡・宮城・粕川地区	市内全地区
設置期間 (平日)	令和4年2月16日（水） から 令和4年3月3日（木） ※町ごとに日程を指定します	令和4年2月16日（水） から 令和4年3月15日（火） ※日程の指定はありません
休日受付	休日受付なし	令和4年2月20日（日） 令和4年2月27日（日）
受付時間	午前9時30分～午後3時30分	午前9時～午後4時

詳細は、12月1日の回覧板や2月1日の戸別配布チラシをご覧ください。  
 お問い合わせ先 前橋市役所市民税課 TEL027-898-6203（直通）

### 粕川公民館講座

## はじめてのすみ絵教室

花や木、風景など好きな「すみ絵」を描いてみませんか！

基礎から学べるので、初めての方でもお気軽にご参加ください。

日時＝令和4年2月8、15、22日 毎週火曜日

午前9時30分～11時30分

場所＝粕川公民館 第二会議室

対象＝興味のある方ならどなたでも

定員＝10名（先着順）

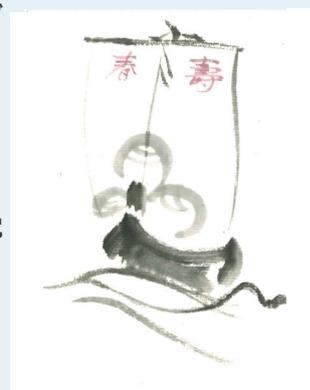
教材費＝500円（当日に集金します）

持ち物＝書筆は、各自ご用意ください。（書道で使われる太筆と細筆を各1本ずつ）

※初日斡旋あり

申込み＝令和4年1月25日（火）まで、粕川公民館へ電話または来館でお申し込みください。

講師作品例→



# 公民館は体験学習の宝庫！

新型コロナウイルスの影響で、子どもの学びの機会が減ってきていますが、子どもの頃の様々な体験は、今後の豊かな人生の基盤となります。

国立青少年教育振興機構の調査では、自然体験・生活体験が豊富な子どもほど、自立的行動習慣（自律性・積極性・協調性）が身についている、という結果が出ています。

また、自立的行動習慣が身についている子どもほど、自己肯定感が高い、携帯・スマホの時間が短い、心身の疲労を感じる事が少ない、という結果も出ています。

**つまり、この調査から、子どものたちの健全な成長のためには、自然体験や生活体験などの体験学習が大切だということが分かります。**

粕川公民館では、青少年体験・チャレンジ活動事業、集会所学習会事業、子育て親子支援事業などの事業で、子ども（又は親子）の体験学習を行っています。

テレビやゲームなどでは経験できない「リアル」を体験することができます。

お子さんの健やかな成長のために、公民館事業に参加してみたいかがでしょうか。

## まが玉づくり教室開催しました

粕川公民館と粕川地区子ども会育成団体連絡協議会の共催で、10月30日（土）粕川歴史民俗資料館にて「まが玉づくり教室」を開催しました。粕川地区の小学生13名が参加し、自分だけの「まが玉」を作って楽しみました。

### ● 粕川歴史民俗資料館

歴史民俗資料館では、10月23日（土）～2月27日（日）、白藤古墳群発掘40年の企画展を行っています。白藤古墳群とは、粕川町膳で発見された古墳群で、展示品として、メノウやヒスイのまが玉、ぐんまちゃん植輪、初公開の銅製ガラス玉付きまが玉などが展示されています。詳しくは、粕川歴史民俗資料館までお問い合わせください。（027-230-6388）



## 隣保館NEWS

※新型コロナウイルスの関係で、イベント等が中止となる場合があります。（隣保館 ☎285-5534）

### ○人権週間

12月4日から10日は人権週間です。1948年12月10日の第3回国連総会において、「世界人権宣言」が採択されたのを記念して制定されました。この日を最終日とする1週間を「人権週間」としています。

人権問題には、高齢者、障がい者、児童、同和地区出身者、外国人、ハンセン病、LGBTQ、DV、さらに最近では、インターネット等による書き込み、新型コロナウイルスに関連した誹謗・中傷等もあります。皆さんが自分事としてとらえ、人権意識を高めることが求められています。

### ○障害者週間

12月3日から9日は障害者週間です。2004年の障害者基本法の改正時に制定されました。広く障がい者の福祉について関心と理解を深めるとともに、障がい者があらゆる分野での活動に参加できるよう、呼びかけています。

### ○粕川保育所子育て支援センター

#### 「さくらんぼクラブ」(会場は隣保館)

- ① 12月9日（木）10時30分～ 育児講座「骨盤調整ヨガ」 親子7組
- ② 12月14日（火） [1] 9時45分～11時 [2] 10時45分～12時 育児講座「手形アート」 各組親子5組（読み聞かせの時間もあります。） 10時45分～
- ③ 12月21日（火）10時15分～11時45分 クリスマス会 ミニゲームで楽しんだ後、サンタさんからのプレゼントをもらいに来てくださいね。

子育て中のお母さんをはじめ保護者の皆さんには、子育ての息抜きとおしゃべり場として楽しんでください。その他の日は、粕川保育所子育て支援室での活動となります。ぜひお気軽に遊びに来てくださいね。

（問い合わせ・申し込み先）子育て支援センター 電話 285-2107

## 滝沢の不動さま② 不動明王像の寄進者

前回、滝沢の不動明王像は当国佐貫庄司又太郎藤原沙弥道弘（道広の使用もあり）の寄進と記したが、その後調べていくと、他にも寄進していることが分かってきた。三夜沢の赤城神社の記録にある年代記などによると、応永十三年（1406）の条に「東社地藏一躰・西社虚空蔵千手観音五百躰ツツ当国邑楽郡庄司寄進」「滝沢不動尊像立」とあり、さらに「大洞地藏岳地藏当国佐貫庄司又太郎藤原沙弥道弘」と記載されてある。

この赤城神社年代記には、滝沢の不動明王像奉斎とともに赤城神社東社に地藏千躰・西社に虚空蔵五百躰・千手観音五百躰とさらに地藏岳に地藏像を造立寄進したとある。

赤城山等への仏像や石仏の寄進者について、明和村誌や邑楽町誌等で調べてみた。それによると、佐貫氏は、秀郷流藤原氏の一族で利根川沿いの低地を開

発し荘園化して、現地の荘官となつて支配権を広げていった。

その後、鎌倉幕府の成立により、地頭職に補任され邑楽郡全域を支配できるようになり、やがて鎌倉幕府の御家人となる。勢多郡誌によると、寄進者藤原沙弥道弘なる人は、沙弥を使用しているの、仏門に入った武士ではないかとし、寺の旦那であつたかも知れないと記している。

## ムカデは赤城山神の御眷属

ムカデは赤城さんのお使いである。赤城山東南麓では百足を大事にする風習がある。我が粕川町月田、室沢でも「ムカデムカデ赤城山へ行け」と殺さずにとつと放してやった。と「赤城の神」の著者今井善一郎氏は言っている。また、桐生市新里町板橋の鳥居には1・3メートルのムカデが一对彫り込んである。この鳥居は天明二年（1782）に赤城南麓一帯の5000人の奉仕によって建立された

という（新里村誌）

## ムカデを退治した俵藤太 藤原秀郷伝説とその一族

赤城山東南麓から平坦地域は早くから藤原秀郷一族によって開発された。その子孫は、佐野・足利・小山に住み、下野国の有力な氏族となった。また、上野国においても、山上・大胡・深津・赤堀・桐生などの地域も藤原秀郷の子孫が開発し有力者となつている。特にムカデの伝承地近くに住んだ豪族は、山上・大胡・深津・大屋・園田・佐貫氏等である。

館林市足次町赤城神社は佐貫氏の本貫地である。この社殿のいたるところにムカデの彫刻が施されている。秀郷流藤原氏一族は、瀬田の唐橋で退治したムカデを何故守護神にしたのかについて、赤城民俗記の中で都丸十九一氏は「秀郷流の家々では、先祖秀郷が竜神の乞いによってムカデ退治した事を武勇の誉として、又、権威の象徴としてこれを外部の人達や領民に誇示していたと思われる」と記している。

秀郷流の一族である佐貫氏子孫は朝に夕に赤城山を仰ぎ、自分たちの氏神の宿る山として信仰し、赤城山神の眷属であるムカデ信仰に篤い佐貫氏は、仏像や石仏を寄進して秀郷流佐貫氏の子孫繁栄と仏教や修験道の布教に努めた。

滝沢不動明王像の寄進者について、若干の考察を試みた。理解していただけたら幸いです。理

### ▼主な文献

【群馬県史民俗2信仰民俗知識 群馬県】  
【勢多郡誌 勢多郡誌編纂委員会】  
【邑楽町誌上 邑楽町】  
【明和村誌 明和村】  
【新里村誌 新里村】  
【前橋の文化財新版 前橋市教育委員会】  
【赤城山民俗記 都丸十九一著 換乎堂】  
【赤城の神 今井善一郎 換乎堂】  
【神道集 貴志正造 平凡社】  
【藤原秀郷 野口実吉川弘文堂】



むかで鳥居（新里村板橋）

## 人権標語

小学校児童の標語をご紹介します。（敬称略）

※学年は令和2年度時です。

- 「大丈夫？」 その一言が みんなを救う  
今川 果音（粕川小5年）
- やさしさと 思いやりで いじめゼロ  
阿久澤 結衣（粕川小5年）

粕川体協

## 卓球大会/交流大会の中止について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次のイベントについて中止いたします。楽しみにしていた地域の皆様には申し訳ございませんが、ご理解いただき、来年以降の開催にご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### ●第52回粕川地区卓球大会

### ●第35回粕川地区スポーツ少年団交流大会

粕川体育協会・粕川体協卓球部

粕川地区スポーツ少年団

青少年育成推進員連絡協議会

## 冬の青少年健全育成運動

実施期間：12月15日～1月31日

家庭でも安全・安心なネット利用を考えましょう。

- お** 写真を送らない（人に見られて困る写真）
- ぜ** ぜったい会わない（ネットで知り合った人と）
- の** 個人情報をのせない（名前・住所・学校名等）
- か** 悪口をかきこまない
- み** 有害サイトをみない（フィルタリングをかける）
- さ** 出会いをさがさない
- ま** ルールを守る（遊ぶ時間や料金等）



## 前橋市立図書館 粕川分館ぞより

[休館日] 12/2(木)・6(月)・9(木)16(木)・23(木) ※年末年始29日(水)～1/4(火)  
1/6(木)・13(木)・17(月)～20(木) 蔵書整理、27(木)

### 今月の新刊ご案内 《児童書・絵本》

#### 《一般書》

ぼくモグラキツネ馬（チャーリー・マックジー） ●民王（池井戸潤） ●花束は毒（織守きょうや） ●氷の鎖（久和間拓） ●7年（こがらし輪音） ●輝山（澤田瞳子） ●かぞえきれない星の、その次の星（重松清） ●山のふもとのブレイクタイム（高森美由紀） ●硝子の塔の殺人（知念実希人） ●二十一時の渋谷で（古内一絵）

●おばけガムをたべちゃった！（むらいかよ） ●文豪中学生日記（小手鞠るい） ●もうひとつのアンデルセン童話（齊藤洋） ●オニのサラリーマン じごく・ごくらく運動会（富安陽子） ●おさるのジョージうんどうかいにでる（M.レイ） ●おさるのえほん（いとうひろし） ●きつね山の赤い花（安房直子） ●ぎんいろのねこ（あまんきみこ） ●そらからおちてきてん（ジョン・クラッセン） ●ぶんぶくちやがま 紙芝居（川崎大治）

市立図書館粕川分館 ☎027(285)3312

○開館時間 <平日> 午前10時～午後6時

<土日祝> 午前10時～午後5時

■発行日 令和3年12月1日発行  
■編集発行 粕川公民館 〒371-0217 前橋市粕川町西田面194-4  
TEL 027-285-3311 FAX 027-230-6063  
ホームページ <http://www.city.maebashi.gunma.jp/>  
→ 公民館 → 粕川公民館



WEB-SITE

